

# 甲州ブドウ 国際登録



日本国内の固有種として初めて国際機関に品種登録された甲州種ブドウ

## 日本固有種初

甲州種ワインの原料となる甲州種ブドウが、ワインに関する国際的な審査機関「葡萄・ワイン国際機構」(OIV、本部パリ)に品種登録されることが5日までに決まった。日本国内の固有種が登録されるのは初めて。これまで甲州種ワインは原料のブドウが未登録のため、EU輸出向けのワインラベルに甲州ワインと表記することができなかった。登録を機に、山梨県や県内のワインメーカーは甲州ワインとして、EUへの輸出を本格的にさせるとともに、ワインの本場・ヨーロッパでブランド化を目指す。

## 県産ワイン 欧州進出へ弾み

# 山梨日日新聞

4月6日  
火曜日

発行所 山梨日日新聞社  
〒400-8515 甲府市北口2-6-10  
電話(055)231-3000  
編集231-3111 FAX231-3161  
事業231-3133 出版231-3105  
広告231-3131 販売231-3132  
©山梨日日新聞社2010年

県産業支援課によると、OIVはブドウの栽培やワインの醸造について国際的な取り決めや審査を行うEU指定の国際機関。OIVが認証していない品種を原料にした場合、品種名をラベルに明記することができない。このため、県内の複数のワインメーカーはEU向けに甲州種ワインの輸出を始めているが、これまで「甲州ワイン」と表示でき

裁き品イで甲の  
の歴史を持つ山梨県産の  
千年以上の歴史を持つ山梨県産の  
甲州種ブドウを使ったワインの歴史は135年ほど前、現在では甲州種ブドウが原料とされる。栽培面積は、県の農業家の高齢化や高級品種への転換により、1990年代初頭ピークの半分に落ち込んでいる。

なかつた。県は甲州ワインとして輸出できる環境づくりを目指し、昨年度から甲州種ブドウのOIV登録に向けた取り組みを開始。甲州種ブドウの特性を分析した上で、今年1月、データとともにOIVに登録申請書を提出した。4月、OIVから甲州種ブドウの登録と、ワインラベルに「koshu」と「koshu」と表示でき

州などと表記できることになった、と連絡があった。甲州種ワインをめぐっては一部のワインメーカーがEUに輸出してきたが、県などは登録を受け、業界を挙げて輸出を進める考え。欧米で和食ブームが広がる中、和食に合うワインとしてPRするとともに、甲州種ワインのブランド化を図り、2012年度には1万本の輸出を目指す。

甲州種ワインのEU向け輸出の拡大を目指し、プロジェクト委員会を立ち上げている